

わたしの声はわたしのもの？ わたしの顔はわたしのもの？ ～デジタルレプリカの法律学入門

AIによる声の模倣に、声優や歌手たちが抗議の声を挙げています。一方、ハリウッドでは亡くなった俳優が3D映像でよみがえり、映画出演を果たしています。肖像権は20世紀に認められた新しい権利で、「声の権利」はいまだその射程も確立されていません。「わたし」はどこまで私のものか。肖像権や著作権の知識と共に学びます。



事前申込制

URLまたはQRコードからお申し込みください

<https://bit.ly/4ilv5UM>

受付開始：3月24日(月)午前10時～

※申込先着順で定員になり次第締め切ります。

対象：塾生・教職員

※無料/事前登録

※申込者多数の場合は、塾生を優先します。

4月16日(水)

16:30～18:00

講師：福井 健策

弁護士（日本・ニューヨーク州）
日本大学芸術学部・神戸大学大学院・情報経営イノベーション専門職大学（iU）ほか客員教授

場所：日吉キャンパス来往舎1階シンポジウムスペース

対象：塾生・教職員

※無料/事前登録

※申込者多数の場合は塾生を優先します。

問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

福井 健策

弁護士（日本・ニューヨーク州）

日本大学芸術学部・神戸大学大学院・情報経営イノベーション専門職大学（iU）ほか客員教授



1991年 東京大学法学部卒。1993年 弁護士登録（第二東京弁護士会）。米国コロンビア大学法学修士課程修了（セゾン文化財団スカラシップ）、シンガポール国立大学リサーチスカラーなど経て、現在、骨董通り法律事務所代表パートナー。著書に「改訂版著作権とは何か」「誰が『知』を独占するのか」（集英社新書）、「エンタテインメントと著作権」全5巻（シリーズ編者、CRIC）、「エンタテインメント法実務（第二版）」（編著・弘文堂）、「18歳の著作権入門」（ちくまプリマー新書）、「AIがつなげる社会」（弘文堂）ほか。内閣府・文化庁ほか委員、デジタルアーカイブ学会理事、緊急事態舞台芸術ネットワーク常任理事・政策部会長、「本の未来基金」運営委員、クリエイターエコノミー協会監事、日本文学振興会評議員などを務める。